

地域づくり活動 NPO 事業助成（連携重視）事業 実績報告

団体名	プラットフォーム淡路島	代表者名	代表 清水 昭男
事業名	プラットフォーム淡路島 地域ネットワーク&きずな強化事業		

<事業実施実績>

年 月 日	活 動 内 容
2019年 4月8日	第1回企画運営会議 洲本総合庁舎3階（出席者10名）
4月22日	第2回企画運営会議 洲本総合庁舎3階（事務局のみ）
5月17日	平成31/令和元年度 総会 洲本総合庁舎（出席者12名、アドバイザー2名）
6月11日	第3回企画運営会議 洲本総合庁舎3階（出席者10名）
7月26日	第4回企画運営会議 洲本総合庁舎3階（出席者11名）
8月1日	出展・協力団体 調整・打合せ会（洲本総合庁舎5階多目的ホール） （出席者12名・コアメンバー3名）
8月17日	第1回あわじ地域づくりラウンドテーブル ④に記載（参加者45名） 「地域の志あるお金の仕組み～東近江三方よし基金の事例に学ぶ～」
8月18日	関連団体の支援（西浦活性化委員会）一宮ふるさとセンター ～オリンピックに神楽を！～「神楽伝承フォーラム」（出席者3名）
9月1日 （防災の日）	「第3回防災・減災メッセ」①に記載（助成事業）洲本市防災公園・広域消防事務組合・洲本ハウジングパーク（アドバイザー2名）
9月20日	第5回企画運営会議（洲本総合庁舎2階会議室）（出席者11名・アドバイザー2名）振り返り
10月23日	第6回企画運営会議（洲本総合庁舎2階会議室）（出席者10名）
11月21日	第7回企画運営会議（洲本総合庁舎3階会議室）（出席者8名・アドバイザー1名）
12月1日	第2回あわじ地域づくりラウンドテーブル「交流広場で共に考える地域づくり in 尾崎」⑤に記載 淡路市尾崎・尾崎ガーデンズで実施（アドバイザー1名）
12月24日	第8回企画運営会議（洲本総合庁舎2階会議室）（出席者9名）
2020年 1月10日	「新春交流会 地域づくり人 集まれ！」⑥に記載 洲本市文化体育館1階会議室で実施（アドバイザー2名）
1月31日	第9回企画運営会議（洲本総合庁舎2階会議室）（出席者10名）

2月7日	「移住を考える」交流会②に記載 淡路市生田「そばカフェ生田村」及びその周辺で実施（アドバイザー2名）参加者42名
2月28日	第10回企画運営会議（洲本総合庁舎2階会議室）（出席者10名）
3月4日	「地域づくり報告・交流会」③に記載 洲本総合庁舎3階会議室で実施 なお交流会をワークショップ形式で実施予定であったが、新型コロナウイルスの感染防止のため、急きょ中止し、報告会のみとした。
3月27日	第11回企画運営会議（洲本総合庁舎2階会議室）（出席者10名）

<効果と成果>

淡路島の少子高齢化、過疎化は顕著である。細分化されて多様化する世帯が増え、地域の文化、伝統そして結びつきや連帯感が失われる状況にある。地域づくりは失われつつある連帯感や地域力を蘇らせる手法の一つである。人材・資金・拠点・魅力など、どれを欠いても成り立たない。

各事業を通じて、地域づくりを主導する人材、連携や協働の仲間、情報の発信・取り込み、活力の源泉となる資金などについて問題提起と提案ができた。地域づくりに関わる方が縦横に繋がり、相互に乗り入れる仕組み作りのお手伝いを主眼とし、集う場・機会を多くし、情報を交流させることで新たな挑戦や継続力が生まれた。勿論、頑張っている地域の評価も忘れない。行政の行き届きにくくなった部分を民間主導で事業を進めた。

地域づくりを通じて人が集い、交流し、輪を広げ、更なるネットワーク作りや連携・結束力を強くできた。事業を通じてそのような縁の下の力持ちの役目が微力ながら果たせた。

<収支決算書>

(収入)

項 目	金 額 (円)
地域づくり活動 NPO 事業助成金	500,000
あわじ地域づくりプラットフォーム形成事業委託	300,000
ひょうご安全の日推進事業	217,000
負担金、協賛金、参加費等	102,600
自主財源	49,681
合 計	1,169,281

(支出)

区分	項 目	金 額 (円)	左のうち助成対象金額 (円)
直接経費	謝金	157,000	95,000
	旅費交通費	320,110	251,400
	事業費	408,471	121,439
	その他 (人件費、会場費等)	158,050	71,200
	小 計	1,043,631	539,039
	間接経費 (一般管理費)	125,650	61,153
	合 計	1,169,281	600,192